

(写真・文 太田祥作)

アズマシロカネソウ (学名: *Dichocarpum nipponicum*)

【キンポウゲ科】



アズマシロカネソウは、春の只見町の沢筋に見られるキンポウゲ科の多年草です。秋田県から福井県にかけての本州日本海側にだけ分布しています。高さは10～20cmほどで、春に1cmほどの可憐な花を咲かせます。花弁のように見えるのがく片で、薄黄色に一部紫色が混ざり、美しいアクセントになっています。小さな花弁はがく片の内側にあって、黄色く厚みがあります。葉は丸みを帯び、セリの切れ込みを浅くしたような独特の形で、株の上の方から互い違いに展開しています。生息地では写真のように群生するのも特徴です。

福島県内における分布は会津地方に限られ、県の最新のレッドリストにおいて準絶滅危惧に選定されています。只見町では今のところ蒲生、叶津、小川、小林で確認されており、林の中の湿った岩場や斜面、沢筋を好んで生育します。例年5月上～中旬に花の見ごろを迎えるものの、この冬の暖冬・少雪の影響で、4月末には開花が始まる場所もあると予想されます。花期は短いですが、只見町の沢筋に春を告げる可憐な花としてアズマシロカネソウの認知が広まれば幸いです。

只見町ブナセンターからのお知らせ

4月は下記イベントを開催/企画しております。

詳細は只見町ブナセンター(電話0241-72-8355)までお問い合わせください。

企画展アーカイブ・プラス「只見の自然を食べる！」

会期：2023年12月2日(土)～2024年4月21日(日)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

自然観察会「野生植物の花観察会」

集合日時・場所：2024年4月27日(土) 13:00 季の郷湯ら里 駐車場

自然観察会「ブナ林の新緑観察会」

集合日時・場所：2024年4月28日(日) 9:00 癒しの森 駐車場